



防火訓練

令和5年10月6日（金）13:30より、防火訓練を行いました！
小学生の時から経験もありますが、「看護学生として」訓練に参加しました。

自分の身を守ることはもちろん、病院では患者様の安全を守るように
1年生全員、頑張りました!!

参加学生の声

★もしもの時に備えて普段から消火器の位置や避難方法などをあらかじめ確認しておくことの重要性を学んだ。

★消火栓体験では、しっかりとホースを持ち、力強く構えていないと水がぶれて消火がきちんと行えないことがわかった。

★消火器の使い方は黄色のピンを引っ張って、レバーを握るなど色々手順があると知らなかった。火事が起きたら一人一人の素早い行動がとても重要だと学んだ。

★外でいつもの声の大きさでの声掛けは、全く聞こえないということに気づきました。

★避難場所への最短ルートや消火器の使い方をあらかじめ理解して、本当に火事が起きた時のことをシミュレーションすることが最も大切だと思った。

★消火栓の扉の中を初めて見た。使い方も知ることができてよかった。

★学校やよく行く場所の消火器や消火栓、火災がどこで起こっているかわかる装置などがどこにあるのかしっかり把握しておこうと思った。

★初めて消火栓のホースに触れることができてすごいなと思った。一人では消火とかできないから、名前を呼んで人を集めて協力して行うことが大切だと思った。

★グループ毎に集合するときにリーダーが来てくれるのを待つのではなく個人個人がリーダーを見つけて集合したほうが早く集まれ、リーダーに頼りすぎず、お互いにいる人いない人の確認をすることが大切だと思った。

★緊急時には適切な声掛けと周りの人の協力が必要であると学んだ。

★指示をよく聞き、すばやく動き「自分が率先して動く!」と思って行動する。

防火訓練に参加して、多くを感じ、考え、学びを得ました。
ご協力いただいた、堺市大阪狭山消防の皆様、近畿大学病院の皆様に感謝いたします。

